

畜舎の火災事故を起こさないために

今秋、県内の畜産関係施設で火災事故が2件発生しています。冬期間は空気が乾燥することに加え、畜舎等において暖房や保温器具等の使用機会が増え、火災事故のリスクが高くなります。

火災事故から家畜、畜舎を守るため、
今一度点検等を行いましょう。

＜火災事故防止のための注意点＞

1. 暖房器具等の使用時の取扱い

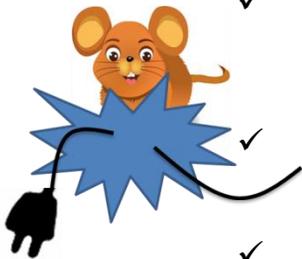
- ✓ 暖房器具等の周囲に燃えやすいものを置かない
 - － 例) 乾草、エサ袋、敷料等
- ✓ 石油ストーブは火をつけたまま給油や移動をしない。



2. 電気設備と配線の点検 ……漏電と過熱

1. 漏電

- ✓ 絶縁の損傷はありませんか。
 - － 電気設備、配線が雨や結露などにより傷んでいませんか。
 - － 扉に挟まれたり、ネズミにかじられたことによる配線の露出はありませんか。
- ✓ ホコリは付着していませんか。
 - － コンセントやプラグ、スイッチの周囲にホコリはたまっていませんか。
(日常的に畜舎全体の整理整頓、清掃を行いましょう)
- ✓ 電気保安協会等の定期点検を受けて漏電の有無を確認しまししょう。



2. 過熱

- ✓ タコ足配線による容量オーバーはありませんか。
- ✓ プラグはコンセントにしっかり差し込まれ、老朽化していませんか。
- ✓ 開閉器には適正なヒューズが使用されていますか。



3. 畜舎火災の発生を想定した準備をしておきましょう。

- ✓ 消火器具を整備・充実しておきましょう。
- ✓ 消火訓練に取り組みましょう。
- ✓ 家畜の避難方法や避難場所を検討しておきましょう。



中央家畜保健衛生所 (西濃総合庁舎内)

〒503-0838 大垣市江崎町422-3

TEL: 0584-73-1111(内線314) FAX: 0584-73-4422

E-mail: c24502@pref.gifu.lg.jp

